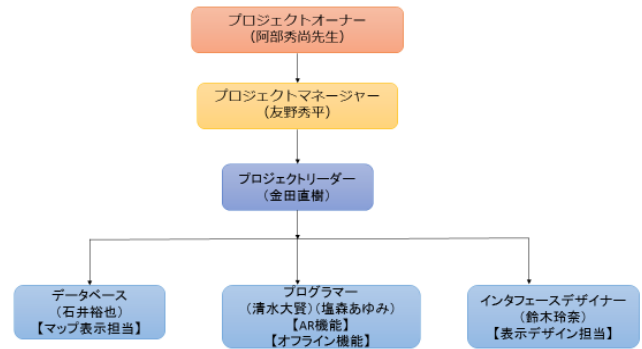


茅ヶ崎市避難訓練アプリ製作プロジェクト

【プロジェクトメンバー】

プロジェクトマネージャー	友野 秀平
プロジェクトリーダー	金田 直樹
データベース担当	石井 裕也
プログラマー	清水 大賢
プログラマー	塩森 あゆみ
インターフェース・デザイナー	鈴木 玲奈

【プロジェクト体制】



PBLを通じて成長した点

- ・大学内で作成したプロジェクトを学外を通じて発表することにより様々な社会問題や事例などを学生主体で情報共有できることで成長できたと感じた。
- ・他大学による様々なディスカッションなどの意見交換を通し、新たな価値や問題点など学ぶことが多く感じた。
- ・グループでの共同作業の大切さを深く理解した。

目的と背景

目的

- ・避難訓練をする際に避難経路や災害が想定される場所などの事前把握をする。
- ・地域に対する防災対策の強化を図ることを目的とする。

背景

- ・日本では災害が多い。近年では、東日本大震災など、私たちは災害に対する意識が低いと考えられるため改善すべき点がある。
- ・避難訓練を行うことで災害に対する意識を高める。

実施内容

開発環境

- ・ Android studio

開発言語

- ・ Java
- ・ PHP

写真画像修正・加工

- ・ Illustrator
- ・ Photoshop

対象とする顧客

- ・ 地方自治体
- ・ 行政機関

開発期間

- ・ 2015年4月15日～2015年12月19日

成果物

- ・ Androidアプリケーション
- ・ PM書類
- ・ プレゼンテーション資料

プロジェクトについて

・工夫した点

高齢者でもアプリを使用できる様、難しい機能を取り入れずインターフェースなどシンプルに作成した。

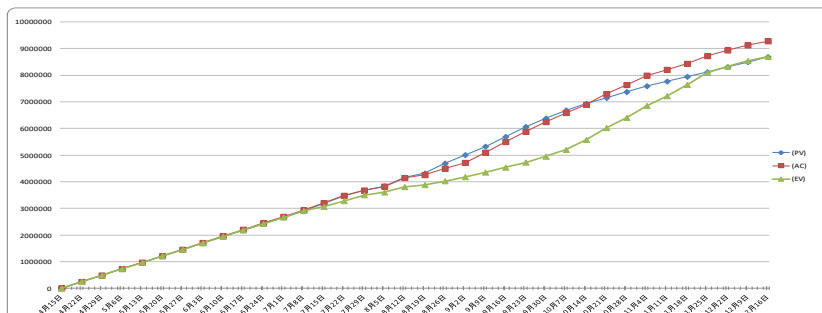
・努力した点

茅ヶ崎市を中心に実際に避難所や施設などに足を運び災害時に危険と想定される道や場所を調査したこと。

・挑戦した点

ルート記録機能という新規性のある機能を取入れたこと。

EVM



メンバー

友野	1990000
金田	1995000
石井	1164000
清水	1188000
塩森	1164000
鈴木	1182000

完成総コスト 8689000

